

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース/国会/旧統一協会問題
- 3面 読者/まんが/俳句・詩
- 4面 動ける体づくり/就援/法律相談
- 5面 憲法/ホットライン
- 6面 エコ生活/もう一品/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/性の多様性



東京・清瀬市 松良寿美子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

新入学の教室で (東京都内)



4月、新学期がスタートしました。ところが、各地で子どもたちを教える先生がいない、「教育に穴が開く」という事態が生まれています。先生の働き方と子どもの権利に及ぼす影響について、桜美林大学教授の中村雅子さんに聞きました。

軍事費ではなく教育予算こそ

「先生ふやして子ども権利の権利の実現を」

桜美林大学教授 中村雅子さん



なかむらまさこ 1954年生まれ。桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専門は教育学・アメリカ研究。民主教育研究所代表運営委員、教育のつどい実行委員会代表委員。

“子ども期”が奪われる

文科省の発表で昨年の不登校と、自殺した子どもの数が過去最高になりました。子どもが子どもとして子ども期を生きる事が今とても難しくな

っています。日本政府はずっと国連の子どもの権利委員会から、「過度に競争的な教育環境や社会環境が子どもたちの子ど

私が共同代表を務めている子どもの権利条約市民・NGOの会は、国連子どもの権利委員会の第4、5回(2019年)の日本政府の審査に補充報告書を提出しました。

も期を奪っている」と指摘されてきましたが、政府はそれをすぐく矮小化して、入試制度をちょっ

せっかく実現した少人数数学級が

そこに盛り込んだ不登校の子どものつぶやきには「先生って大変なん

だ」と、子どもたちが言いたいことも言えない状況があらわれています。



少人数数学級の実現を求める署名提出 (2020年)。後列右から3人目が中村雅子さん

先生って大変…ぼくは我慢する

不登校の子どものつぶやき

「先生ってね、大変なんだよ。毎日けんかをする子や泣く子の話を聞いたりしているんだから。

それなのにぼくが相談したら、先生は病気になるんだよ。だからいいんだ。ぼくは我慢するから。」

「つらかったことは、授業中さされて答えられなかったことです。今でも思い出すと胸がとてつらくなる。先生には、わかるようにやさしく教えてほしい。」

第4・5回日本政府の審査に向けての市民・NGOの会からの補充報告書より / 「不登校の親の会」作成

5月6日号は休刊です

私も教育研究者有志として少人数数学級を求める署名を呼びかけて、その半分以上は新婦人のみなさんに集めていただいた。それで少人数数学級が一部であれ実現しました。ただ私たち教育研究者も、先生たちの長時間過重労働を何とかしないと、少人数数学級が制度としてできても配置できない先生がいないのではないかと危惧していました。沖縄や山口など自治体レベルで先駆けて少人数数学級にしてきた自治体で、

